

第1学年 図画工作科学習指導案

1年 13名
指導者 尾崎 友香
秋山 美鈴
授業場 1年教室

1 題材名 ならべて つなげて〈造形遊び A表現(1)ア, (2)ア, B鑑賞(1)ア共通事項 (1)ア, (1)イ〉

2 題材設定の理由

本題材は、洗濯ばさみの形や色から並べ方やつなげ方を思い付き、いろいろ試す中で好きな並べ方やつなげ方を見付ける活動である。児童にとって、洗濯ばさみは、普段何気なく見たり触れたりしている身近な材料である。また、洗濯ばさみは、並べ方やつなげ方を工夫すれば、平面的にも立体的にもなり、発想をどんどん広げることができる。たくさんの洗濯ばさみを用意し、並べ方やつなげ方を試行錯誤したり友達や友達の作品と関わったりする中で、思い思いの活動を楽しむことをねらいとしている。

本学級の児童は、明るく元気いっぱい、学校での様々な活動に意欲的に取り組んでいる。絵をかいたり、工作をしたりすることが好きな児童も多く、図画工作科の時間を楽しみにしている。6月に行った「ひかりのくにのなかまたち」では、材料の色セロハンに興味をもち、くしゃくしゃに丸めたり、色を重ねて新しい色をつくったり工夫しながら、一人一人が手や体全体を働かせ、動物や虫、自分の分身など自分だけのなかまたちをつくる活動を楽しんでいた。また、算数科の「いろいろなかたち」に関連して、箱や缶を使っていろいろな物をつくって楽しんだ際には、きりん、うさぎ、ネコなどの動物や、消防車、トラック、船などの乗り物をつくり、自分の好きな形や色の箱を集めて、一人一人が思い付くままに表現し、意欲的に取り組んだ。造形遊びにおいては、「いろいろならべて」という題材でたくさんの色紙を教室や廊下に並べる活動を行った。その際には、自分の好きな動物や食べ物をつくる児童、色にこだわりをもって並べる児童、色とりどりの色紙を思い付くままに教室や廊下にどんどん並べていく児童など、一人一人が活動に集中して楽しんでいた。しかし、活動を積極的に楽しみ、すぐに取りかかる児童がいる一方で、自信がなく何度も活動が止まったり、思い通りにつくることができなくて活動に躊躇したりしてしまう児童もいた。そこで、材料からイメージを膨らませ、のびのびと自分らしい表現や活動ができる造形活動の楽しさを味わってほしいと考え、本題材を設定した。

指導に当たっては、児童が思いのままに並べたりつなげたり、思い付くままに活動できるように、十分な材料と活動場所を用意する。また、個人での活動が中心になりやすいため、活動の途中に相互鑑賞の時間を設けることにより、友達の並べ方やつなげ方にも関心をもって、よいと感じたものは自分の活動に取り入れるなど、豊かに発想を広げられるようにしていきたい。また、活動が進まない児童には、友達の並べ方やつなげ方を見せたり教師と一緒に並べたりつなげたりして、自分の思いが表現できるようにしたいと考える。

3 題材の目標

- (1)・洗濯ばさみを並べたりつなげたりすることで生まれる、いろいろな形や色の感じに気付く。
 - ・洗濯ばさみの並べ方やつなげ方、色の組合せ方など、活動を工夫してつくる。(知識及び技能)
- (2)・洗濯ばさみの形や色などをもとに、材料の特徴を生かして、造形的な活動を思い付いたり、さら

に変化させたりして、どのように活動するか考える。 (思考力, 判断力, 表現力等)

(3)・洗濯ばさみの形や色に関心を持ち、並べ方やつなげ方を試しながら、楽しく取り組もうとする。

(学びに向かう力, 人間性等)

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 洗濯ばさみを並べたりつなげたりすることを通して、いろいろな形や色の感じに気付いている。 洗濯ばさみの並べ方やつなげ方など、活動を工夫してつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯ばさみの形や色などをもとに、材料の特徴を生かして、造形的な活動を思い付いたり、さらに変化させたりして、どのように活動するか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯ばさみの形や色に関心を持ち、並べ方やつなげ方を試しながら、楽しく取り組もうとしている。

5 指導と評価の計画 (全2時間 本時2/2)

時間	ねらい・学習活動	評価の観点	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯ばさみを並べたり、つなげたりする活動を楽しむ。 	<p>知 ○</p> <p>思 ◎ (発想や構想)</p> <p>態 ○</p>	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯ばさみを並べたりつなげたりする活動を通して生まれる、形の面白さや色の組合せの面白さに着目している様子を観察する。 (観察, 作品) 材料の形や色, 大きさなどの特徴を基に造形的な活動を思い付き, どのように活動しているかを観察したり, 問いかけたりして把握し, 記録に残す。 (観察, 作品, 対話) 洗濯ばさみの形や色に関心を持ち, 楽しく取り組もうとしている様子を観察し, 指導に生かす。 (観察, 対話)
2	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯ばさみの並べ方やつなげ方を工夫して表す。 本時の活動を振り返る。 	<p>技 ○</p> <p>思 ◎ (鑑賞)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 形の面白さや色の組合せの面白さに着目して, 洗濯ばさみを工夫して並べている様子を観察し, 指導に生かす。 (観察, 対話, 作品) 友達の作品から造形的な面白さを感じ取り, 並べ方をいろいろ工夫したり, 好きな並べ方を見つけたりしている様子を活動全体を通して観察し, 把握して記録を残す。 (観察, 発言, 作品)

○題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を把握し記録に残す。

6 本時

(1) 目標

洗濯ばさみを工夫して並べたりつなげたりする中で好きな並べ方やつなげ方を見付けるとともに、友達や自分がつくった形や色の面白さを感じることができる。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意事項	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
5分	1 本時の学習への意欲をもち、めあてを確認する。	今までにつくったそれぞれの活動の成果を見ながら、前時の学習を振り返り、本時の活動のめあてをもたせる。		
<p>もっと ならべて つなげて たのしもう。</p>				
35分	2 洗濯ばさみの並べ方やつなげかたを工夫して表す。	洗濯ばさみはかごに入れて色ごとにまとめて並べ、児童が選択しやすいようにしておく。 並べ方やつなげ方など、工夫された表現を互いに紹介しあい、参考にできるようにする。	洗濯ばさみを並べる活動を通して生まれる、形や色の組み合わせ方、並べ方の面白さに着目して、手や体全体の感覚を働かせ、並べ方をいろいろ工夫し、好きな並べ方を見付けている。 【技能】	観察 対話 発言 作品
5分	3 本時の活動を振り返る。	互いの表現を楽しみ、形や色の工夫や面白さを感じることができるようにする。	自分や友達がつくった形や色の組み合わせの面白さを感じている。 【思考・判断・表現（鑑賞）】	観察 発言

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断できる状況	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな色や大きさの洗濯ばさみを効果的に使って、長く並べたり立体的につなげたり工夫しながら、楽しんで表現している。 自分や友達がつくった形や色の面白さを感じ、友達にも伝えようとしている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	<ul style="list-style-type: none"> 友達の並べ方やつなげ方を見せたり、教師と一緒に活動したりして自分の思いが表現できるようにする。 友達の発言を聞いたり、いろいろな方向から見せたりして、面白さを感じることができるようにする。